評価1 ソフト

平成22年度事業評価シート(ソフト事業)

1 事業名等(Plan 1)

事業名	地:	地域老人福祉推進事業														
所属名	福礼	祉部 高年介護課 高年政策グループ														
第七次総合計画	政策	「策 2 「やさしさ」のあるまちをめざして <mark>分野</mark> 3 高齢者福祉 基本 1 安心していきがいをもって老後 施策 2 地域や社会への参 1 安心していきがいをもって老後 施策 2 地域や社会への参 加の促進														
	3 1 3 老人福祉費 費 31336 老人クラブ活動費等補助金								事業							
予算科目	費 31399 地域老人福祉推進事業費								事業							
						費										事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等 高山市高齢者福祉対策等事業補助金交付要綱、高山市老人福祉計画(高山市健康長寿ふれあいまちづくり基本計画)																
事業の実施主体 市 市以外→ 高山市連合長寿会																
事業の実施方法		直営	指	定管理	ij	業務委託	0 🖪	体等補助	その他一	→						

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目	誰のために(対象)	60歳以上の市民で構成される単位長寿会及び連合長寿会 <mark>受益者</mark> 数 10,405 人
	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。
概要	事業の実施手法、手順	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている長寿会に対し、福祉の向上のために助けし、連合長寿会を通じて各種活動の育成、支援を行う。
	事業始期・終期	<mark> 始期 </mark>
今年	年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入

3 事業費の推移・結果(Do)

【コスト面】

×		分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総	信合約	·画計画額(当初)		11,000	11,000	13,930	13,900	13,900
総	信合約	·画計画額(計画額)		11,000	11,000	13,930	13,900	13,900
		事業費	予算額	13,990	13,990	13,930		
	(計画	·予算·見込·決算額)	決算·見込	13,986	13,927			
	国庫支出金		予算額					
	١.,	四件又山並	決算·見込					
	財	県支出金	予算額	6,445		4,724		
		未又山並	決算·見込	4,500	5,725			
	l	地方債	予算額					
	源	地力員	決算·見込					
		受益者負担	予算額					
	١.	そ	決算·見込					
	内	の繰入	予算額					
		他	決算·見込					
		()	予算額					
	訳	` /	決算·見込					
		一般財源	予算額	7,545		9,206		
H	1147		決算·見込	9,486		1 11		
5		国勢調査 96,231	人 32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当た	り経費算出、変動を経年比較に	より、効率性評価		
		者負担率(受益者負担/ 人当たりコスト(事業費/F		145	145			
Ĺ		「人ヨにりコスト(事業費/F 帯当たりコスト(事業費/H			145 433			
f.F		ドヨたりコスト(争来負/ロ 者1人当たりコスト(事業)			1,214			
JE J⊞	又無	マの他(空間につて	泉/泪凉/【半位】□/人 【指煙夕記】 車型	1,190 集費をベースとして単位当	1,414			
行示		しい。日本間にコス	単位 円/人		パンコハドで昇山/			
_			平位 177					

【成果面】

	F1707	1										
					原を使い、どん 民に提供したか		<mark>指標名</mark> 会員数		<u> </u>	<u> </u>	長寿会(加入者数)	一 <mark>単位</mark> 人
汪					平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向
計	活動	目	標	値	_	_	10,500	11,100	11,600	12,100	12,300	
到	指標	実	績	値	11,702	11,474	10,405					1 1
-1;		達	成	率	_	_	99.1	0	0	0	0	•
火田	成果指標	(活動	やサー	-ビスを	を行った結果、	市民にどのよう	指標名 長寿会加力	入率	資料•	出展	高年介護課調べ	単位 %
果	影響(効果	果)をど	れだけ	ナ与え	たのかを表す	旨標)	扫标口		算出	式 会員数	/ 65歳以上人口	平位 90
抽			_		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	成果の方向
悰	成果	目	標	値	_	_	42.0	43.0	44.0	45.0	45.0	
	指標	実	績	値	48.5	46.8	41.7					ſ
	扫信	達	成	率	_		99.3	0.0	0.0	0.0	0.0	· •

4 分析·評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)							A:非常に高い			目的評価		
(現状及び	高齢化の進展により	╙	3:高		_\							
判定理由)		П	C:低			Α						
		ַן י	D:非	常に低い	,							
②コスト面	評価(事業費の	推移、コスト	指標の結果から	らコスト面を記	評価)]	項目		②コス	ト面		
該当項	目「1」入力(注 □ 	F成20年度か ## ##	ら平成22年度第一 -	四半期までの	推移から判断)		②		増加	維持	減少	
減少	受益者一人当たりの	維持コストは構ばいて	「ある。 「ある。	増加			③ 成	拡大				
(判定理由)	X X						果面	維持		0		
(1), (2, 2, 1)							血	減少				
③成果面診	平価(活動指標・	成果指標か	ら成果面を評価	<u>f</u> i)		-						
該当項	目「1」入力(注:	平成20年度か	ら平成22年度第一	四半期までの	推移から判断)		⊐	スト・成	果ポ	ジション	,	
拡大		維持	1	減少		H						
					連合長寿会)への加入				Е			
者数、加入率ともには減少しているが、これは地区の事情により地区単位クラブが一同に連合組織 (判定理由) が退会されたためで、今後は横ばいで推移するものと思われる。								第3水準				

目的評価「A·B」かつ コスト・成果「第1水準」	\rightarrow	【「良い」	良好な水準を維持	一次評価 主管課
目的評価「A・B」 かつ コスト・成果「第2水準」	→	【「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要	ш
目的評価「A・B」 かつ コスト・成果「第3水準」	→	∭「普通」	「Ⅱ」の水準に向けた改善が必要	判断の理由 高齢者が増加しているにもかかわらず、加入 者は減少しており、補助の見直しとあわせ
目的評価「A・B」 かつ コスト・成果「第4水準」	→	▼「やや良くない」	「Ⅲ」の水準に向けた改善が必要	て、支援のあり方を検討していく。
目的評価「C・D」 もしくは コスト・成果「第5水準」	→	▼「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の 休止、廃止などの検討が必要	

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点

高齢者が健康でいきいきとした生活を送るためには、高齢者自身の健康づくりや、高齢者相 互の助けあいや地域社会での助け合いの仕組みを充実させることが必要である。連合長寿 会に加入しない単位クラブが増加する傾向にある。

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)

現状維持 ■ 改善·継続 終期設定 休止 廃止 完了

本補助金を有効に活用するため、連合長寿会における活動内容の見直しを進めながら、今後 も継続することにより、各種活動の育成、支援を行う。

次年度の実施方針

動

針 〇地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。

総合評価

判断の理由等

「Ⅲ」以上の水準に向け た改善が必要

高齢者が増加している一方で、高齢者の趣味や考え方も多様化し、組織に対する意識の変化等により、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下している。本事業の目的は、高齢者の生きがいづくりや高齢者相互の助け合いを進めることであることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要である。